

三田4・5丁目・高輪
白金・白金台

発行：高輪地区総合支所 協働推進課
編集：みなとっぴ編集室



<http://www.city.minato.tokyo.jp/takanawachikusei/takanawa/koho/saishin.html>

みなとっぴ

Takanawa
Community News Magazine



表紙絵 紫陽花(日本画) 「作者」矢沢 正子さん(高輪在住)

CONTENTS

2 地域に生きる建築
NFD花ファッションハウス

3 この街にこの人あり
高木 美保 さん
(コメンテーター・タレント)



4 5 地域のおしあと
高輪地区の「道」その1
外苑西通り(プラチナ通り)

6 地域で活躍する若者たち
東海大学高輪共育プロジェクト

6 私だって地域の一員!
目黒通りの看板ねこ「きなこ」

7 地域で賑わうイベント

8 区からのお知らせ

「心地よい、エレガントで成熟した街」

1990年代バブル景気により、高級でお洒落なレストランやカフェ、ブティック、さらには高級マンションが次々と建ち並ぶようになった白金「プラチナ通り」。

当時は駅などなく陸の孤島と呼ばれ、不便な街だった。ところがバブル期というのは、そんな陸の孤島にある雰囲気の良い大人の店に、外車で店に乗り付けるというのがデートの王道だったのだ。そんな「白金」は雑誌から生まれた「シロガネーゼ」という言葉によって一躍注目を浴びることとなる。「シロガネーゼ」とは、平日の日中プラチナ通りのオシャレなレストランでランチするという優雅な「専業主婦」。そんな専業主婦が住むおしゃれな街というイメージができたことで、ファッション誌やワイドショーを中心にマスメディアがこぞって取り上げたのだ。そう、あの時代「プラチナ通り」は憧れの場所として華やいていた。

しかし、時代も人も変わった。専業主婦の気ままさや贅沢をひけらかす時代は去り、ママ友や子どもと「等身大でオシャレに遊ぶ自然体の自分」を出す方が今の流れだ。優雅な「シロガネーゼ」のイメージは徐々に影を潜め、華やかだった「プラチナ通り」も落ち着いた雰囲気の様変わりしたように思う。

かつての華やきから落ち着いた静かでエレガントな成熟した街というのが、今の「プラチナ通り」の印象だ。

ミシュランの星を獲得したお店をはじめレベルの高いレストラン、おしゃれなカフェやブティックなど魅力的なお店が徒歩圏内にたくさん揃っているだけでなく、自然と、歴史にも恵まれた住みやすい魅力がたくさんある白金・白金台エリア。

「プラチナ通り」にはおしゃれな建築も多く、夏には緑濃い並木が木陰を作り、秋にはイチョウ並木が美しい黄金の色に変化する街並みを眺めながらゆつくりと季節の街歩きを楽しんでみてはいかがでしょう？

(担当/黒瀬)

地域に生きる建築 NFD花ファッションハウス (高輪3-19-34)

バラの盛りの5月、外壁を美しく彩るバラと屋上の緑のガーデンが目立つ、NFD花ファッションハウスを訪れました。緑の多い高輪3丁目の地域の景観に調和しています。

公益社団法人日本フラワーデザイナー協会の研修施設として、平成23(2011)年5月に完成し、平成25(2013)年には、「港区みどりの街づくり賞」を受賞しています。

公益社団法人日本フラワーデザイナー協会は、昭和42(1967)年に設立され、平成22(2010)年に内閣府より公益社団法人として認定され今日まで50年以上にわたり、フラワーデザインの普及に努めています。

フラワーデザインとは、海外ではフローラルデザイン(floral design)とも言われ、自然のままでも美しい植物の魅力をさらに引き出し、生活のTPOにあわせて一定のデザイン原則や基礎技法を踏まえ、より美しく表現する造形の総称です。花のみでなく様々な植物素材や、時には造花などを用いることもあります。

協会の主な事業は、フラワーデザイナーの資格検定試験、コンテストの開催、フラワーデザインを通じた社会貢献活動、国際交流、フラワーデザイナーの職業斡旋などです。平成30年度の会員数は約22,000名となっています。



全体が緑化された建物の外観



屋上ガーデンのバラ



4階屋上ガーデン



研修室(机や椅子も水戸岡氏のデザイン)



ラウンジから見る屋上ガーデン



つるバラが外壁を覆っています



4階屋上ガーデン

■建物のコンセプト、デザイン

建物全体のコンセプト、デザインは JR 九州新幹線のデザインを手がけた著名なインダストリアルデザイナー水戸岡鋭治氏によるものです。

生きた花を引き立てるため、建物は白を基調に温かみのある木材が使われています。水戸岡氏によると、イギリスで見たバラが壁一面にある建物をイメージしたそうです。1、2階は研修室、3階はラウンジ、図書室、控室などで構成されています。3階の一部と4階に多種の花で彩られた屋上ガーデンがあります。

インテリアは木や大理石などの素材にこだわり、机や椅子、床に至るまでデザインされています。大きな窓から差し込む光で、木の温もりが際立ちます。半円形のラウンジから見る屋上ガーデンの景観は圧巻です。

■緑化のデザイン

外壁を飾る四季咲きのつるバラは、春と秋に一面、ピンクとクリーム色の花を咲かせています。花の季節にはバラの香りが、建物を包みます。建物の上に花を伸ばすために、枝の剪定が大変な作業とのこと。3階、4階の屋上ガーデンには、バラの他、ツツジ、クリスマスローズ、オルレアなど多種の花が植えられています。毎日、スタッフの方が壁面や屋上の植栽の管理を行っています。

■取材を終えて

バラの盛りに訪れたので、建物と花が一体となった空間を楽しむことができました。また、フラワーデザインの一端を知ることができました。

地域に開かれた施設で、平日は10時～17時まで、それ以外はお問合せください。(03-5422-8768)

この街にこの人あり

コメンテーター・タレント 高木美保さん

「自然と共生したいという気持ちから農業を行っています」

女優になったきっかけは。

友人となげなく、俳優養成所の試験を受けて、受かってしまったからです。

女優になりたかったからでしょうか。でも、女優はあまり永い間はやっていません。

その後、女優からコメンテーターとして活躍していますが。

台本に書いてあるセリフをそのまましゃべるより、自分の言葉で自分の考えたことを語りたかったからです。

テレビで発言すると、賛否両論の反響があります。批判や反対意見もあります。それがそれで、自分にとって、次の活動のエネルギーになります。

鳴らす役目があると思います。

コメンテーターとして、最近のニュースで一番関心を持ったことはどんなことですか。

アメリカンフットボールの大学選手の危険タックルに関する問題です。

かつて、当該大学の1年生を対象に口ハス(地球環境保護と健康)について講演したことがあります。みなさん、とても熱心に話を聞いてくれました。ユニークな質問もできて、楽しかったです。学生のみなさん、本当に可愛かったです。

今回の問題によってもし大学全体のブランドに傷がついてしまうとしたら、残念です。

農業を始められたのはなぜですか。

自然の中で生活したい、自然と共生したいという気持ちが強かったからです。その一環として農業をすることになったのです。

小さい頃、長野県飯田市にいて、農業の体験をしたことがあるので、いつかは自然の中ですごしたいと思っていました。

農業はどの位の間、行っていますか。また、どのような生活ですか。

春から秋まで週の半分は、栃木県那須で父と農業を行っています。朝早く起きて、午前中農業をやり、夜早く寝るので規則正しい生活になります。時計を気にしなくなります。

取りたての野菜は、フレッシュでおいしいし、実がなるものは完熟した時に食べるので本当においしいです。

「ねばならぬ」という気持ちでやっていないので、農作業もあまり苦になりません。

どんな作物をつくっていますか。

野菜は、いろいろなものを作っています。同じ場所と同じ作物を続けないよう注意しています。以前は米づくりもしていました。

日焼けとか、虫とか気になりませんか。

日焼けは防ぐことができます。日焼け止めクリームやファンデーションをしっかりとつけるのが大事です。特に、肩から上の部分の日焼けは注意しています。虫はきらいではないので、さほど気になりません。東京は暑いので虫が活発で、ベランダの野菜などはすぐ虫にやられて驚きます。

お肌がともきれいですね。何か特別なことをしていますか。

新鮮な野菜を沢山食べています。あとは、ご飯にお酢をかけて、お刺身をよく食べます。刺身は消化がいいのですよ。

これからも地方と東京との二重生活を続けていくおつもりですか。

東京だけでなく、京都も好きです。住んでみないとそのよさがわからないことがあります。一度は、京都に住んでみたいですね。

国文科を専攻され、エッセイの本も出版されていますが、文学に関心があったのですか。

国文科を専攻したのは、特に、文学に関心があった訳ではなく、他に選択肢がなかったからです。(笑)文章を書くより、絵を描く方が好きです。いつも絵の道具を持っており、東京や京都などで絵を描いています。また、世界中を旅して絵を描いてみたいと思っています。

今後、どんなことをやってみたいですか。

世界的に起きている「#MeToo」運動について、自らの体験を踏まえてコメント



庭の畑。はじめてナスをもいだ。

したことがあります。ネット社会なので、1時間半後にそれに対応したSNSから反響があり、とても勇気を頂きました。日本では、男性の中に女性がいると、「花を添える」という言葉があるように、女性の人格があまり尊重されていません。今後は、メディアを使って女性の権利を守り、訴えていきたいです。

主婦などが家庭という密室で受けているセクハラ、パワハラ、モラハラについても、専門家から勉強させてもらっているところなんです。男性から女性へのハラスメントだけでなく、女性から男性、同性同士のハラスメントもあります。

裁判では届かない想いでも、メディアを通して伝え続けていくことはできると思っていますので、これからも続けていきたいです。

取材を終えて

インタビューの質問に、歯切れのよい口調で言葉を選んで、話しをされました。コメンテーターという職業が身についている方と思えました。メディアでの今後のご活躍に期待したいです。

(担当/安藤、松島、滝川、明石、齋藤、伊関)



【プロフィール】 高木 美保 (たかぎ みほ)

1962年、東京都に生まれる。和洋女子大学中退。1984年、映画「Wの悲劇」で女優デビュー。1998年より栃木県那須で農業を始める。

一方、テレビのバラエティ番組などでコメンテーターとして活躍。現在、「羽鳥慎一モーニングショー」にレギュラー出演。「生かされている私」などのエッセイの著書がある。



外苑西通り(プラチナ通り)

地域のあしあと 高輪地区の「道」 その1

●都道418号線 外苑西通り(プラチナ通り)

今号から高輪地区の「道」を取り上げます。道は人々の生活の基盤となるもので、古来より利用され、沿道はその時代の姿を反映しています。

第1回として、白金台6丁目交差点から白金台交差点に至る緩やかな坂道の外苑西通り(プラチナ通り)を取り上げます。

ビオトープ BIOTOPのツリーハウス

洋服や雑貨、植物を扱うショップ「BIOTOP(ビオトープ)」の中庭に造られたツリーハウス。ツリーハウスクリエイターの小林崇氏が、平成22(2010)年に制作。高さはちょうど3階くらい、樫の木を囲むように三畳半ほどの部屋が星の形に造られている。店内に入って専用の階段を使えば誰でも自由に登れる。



パラフェーズ PARAFUSE

エステサロン・スクール「パラフェーズ(PARAFUSE)」のオーナーの趣味で展示されているベルシャ絨毯。手作りのタペストリーは絵画のようで、職人しか出せない絶妙な表現や立体感がある。



ボルダリングジム「空の向こうへ四足歩行」

2020年東京五輪の新種目として採用されたボルダリング。“世界一”初心者にやさしいジムを目指して平成26(2014)年にオープン。動きやすい服装を準備するだけで、気軽にボルダリングが楽しめる。5歳から70歳超まで性別や年齢に関係なく多くの人が来店するそう。ゴールまでのプロセスを考える思考能力が必要で、知的スポーツの代表格とも言われるボルダリング。集中力や思考力アップが期待出来る。



ツイ白金台ビル

フランスのデザイナーフィリップスタルクの設計による曲面の銅版ユニットで構成された外壁がひととき目を引く商業ビル。プラネタリウムBAR・美容院・レストラン・プライダルサロン等6つのテナントが入る商業ビルとなっている。平成元(1989)年竣工。



白金の森

- 周りを緑豊かな自然に囲まれた、環境の良い施設。
- 高輪地区高齢者相談センター(地域包括支援センター)
- 区立特別養護老人ホーム
- 高齢者在宅サービスセンター
- 高輪地区ふれあい相談室



松岡美術館

平成12(2000)年松岡清次郎氏の私邸跡地に建設された美術館。



黄色に染まるイチョウ並木



整備中の外苑西通り(1955年~1964年)



1960年代の外苑西通り

沿革

外苑とは明治天皇を顕彰する目的で葬儀の行われた青山練兵場跡地に建てられた洋風庭園のことを言い、その西側を通る道なので、外苑西通りと名付けられました。

「東都麻布之絵図」によると、青山方面から流れ出て、天現寺の脇で合流する川があり、この流路がおおよそ外苑西通りにあたります。

昭和初期には、外苑西通りはなく、家屋が立ち並んでいました。

戦後すぐには、畑地として利用されていました。昭和39(1964)年の東京オリンピックを契機に整備され、現在は大きな銀杏並木が連なり、沿道は「ファッションとグルメ」のおしゃれなまちになりました。

参考文献：k.k東京堂出版発行「東京の道事典」

犬のようちえん

トレーナー全員が日本ドッグトレーナー協会認定A級保持者の「犬のようちえん」。教室に通うワンちゃん達は、どの子もみんなお行儀がよく、穏やかな表情をしています。



OGGETTI

ショコラティエ・エリカの二階にある、ヨーロッパから輸入したラッピングや雑貨の専門店。持ち込み品のラッピングを頼むこともできる。



ときのもり

奈良の美味しい食材や工芸品などを紹介するショップ&レストラン。内装には吉野の杉や檜などがふんだんに使われている。毎月第二、第四土曜日はマルシェも開催される。



グルメのまち

ミシュランガイドで星を獲得したお店が集中しています。

- ★ = ミシュランガイドの星を獲得した店
- (参考文献)「ミシュランガイド東京2018」日本ミシュランタイヤ、2017年発行
- ◎ = 港区商店グランプリ受賞店



地域で活躍する
若者たち

《東海大学高輪共育プロジェクト》

—地域の繋がりで清正公大祭を盛り上げる！—

高輪共育プロジェクトは、東海大学チャレンジセンターのプロジェクトで、地域の活性化を目標とし、大学周辺の商店街を中心に活動を行っています。地域の方々と交流を図りながら、様々なイベントの参加および運営をすることで、高輪地区を盛り上げている団体です。活動について、リーダーの鈴木充さんにお話を伺いました。



4月に入った1年生が18人と多いそうで、賑やかな雰囲気でした

復興支援のスイーツ

東海大学前の商店街、「メリーロード高輪」が、清正公大祭と同時開催している「高輪のれんノ市」で、共育プロジェクトは、「チョコバナナ&イチゴ」を販売していました。震災の被災地の復興のために、売上を寄付するというチャリティー活動の一環で、元気よく販売するメンバーには、とても活気がありました。

共育プロジェクトは、3～4年前から「高輪のれんノ市」に参加しており、毎年気仙沼や熊本に関連したものを売っているそうです。今年の場合は、つながりのあった熊本の農家



「冷えた物をお持ちしました！」と明るいメンバー

からイチゴを取り寄せられたので、それをスイーツにして販売することになったそうです。

共育プロジェクトが繋ぐ地域

地域と共に育つことを掲げている共育プロジェクトは、メリーロード高輪でのイルミネーションのデザインや、泉岳寺夏まつりなど、主に大学周辺での活動が多いそうです。しかし、時には、浅草の三社祭で神輿担ぎをするなど、少し遠いところで活動することもあるそうです。声をかけられた時だけでなく、自分たちで参加する行事を見つけて、実行していく積極さに大学生らしさを感じました。

地域の役に立つ

今年度は、15のイベントへ参加する予定があるそうです。11月開催予定の高輪まつりは、共育プロジェクト主催で行い、3月には毎年行っている気仙沼への訪問も予定しているなど、多忙な活動をしている共育プロジェクト。鈴木充さんは、「確かにしんどい部分もありますが、だからこそ地域の役に立てたとき、達成感も大きいです。」と仰っていました。



取材を受けてくださった鈴木さん(写真は2017年度)

(担当/戸部田、平尾、安藤、吉田、明石、伊関、齋藤)

ペット
私だって
地域の一員!

目黒通りの看板ねこ 「きなこ」

きなこ：オス/8才/雑種
飼い主：大野さん(白金台4丁目在住)



「僕は街の人気者」



「掃除機大好き!」

僕の名前は「きなこ」オス8歳です。名前の由来は「きなこ色」からつけられました。

お店の入口でリールにつながれ、2、3時間、看板ねこをしています。

お店の前を通るお子さんや老若男女の方から撫でられたり、写真を撮られたりして可愛がってもらいます。僕がママとお散歩していると「あっ、きなこだ」と声をかけられます。街にはファンがいっぱいいます。

生まれてすぐに、千葉から白金台にもらわれてきました。だからほとんどのネコママは知りません。ママのことが大好きでお風呂でもトイレでもついて行きます。

ある雨の日、屋上から外階段で降りる時、足にからんでママが滑って転び、大怪我をさせていただきました。この時から外にでる時は、リールにつながれるようになりました。

掃除機が大好きで、掃除機の音がすると飛んでいき、全身のお手入れをしてもらいます。うれしくて、尾っぽが立っちゃいます。「だって、気持ちよくてきれいになれるだニャン!」街で見かけたら「きなこ!」と声をかけてニャン!



(大野さん提供)

(担当/安藤、松島)

地域で賑わうイベント

「清正公大祭」と「高輪のれんノ市」

● 清正公大祭の由来

加藤清正公にゆかりのあるお祭りで、毎年5月4日、5日に覚林寺にて「清正公大祭」が開催される。覚林寺では「勝負に勝つ」との意味が込められた勝守や開運出世祝鯉が参拝者に授与される。

また「しょうぶ」の葉が覚林寺の中や周辺で売られている。いつから始まったかは定かではないが、少なくとも100年以上の歴史があると言われている。

● 清正公大祭の今と昔

・昭和20～40年代の清正公大祭

夜の12時ごろまで営業していて、5月4日は、そのまま屋台を置いていった。

他に娯楽がない時代なので、お祭りが生活の最大の楽しみになっていて、覚林寺の中、桜田通り、天神坂は、道が歩けないほど人出で賑わっていた。



昭和40年ごろの清正公大祭



昔は生きたひよこが売られていた

の店、植木屋、生きているひよこや亀を売る店などもあった。金魚すくいの店も多かった。(戦前には見世物小屋もあり、「ろくろっ首」などが演じられていた。)

ゲームがない時代なので、子ども向けのおもちゃの店や鯉のぼりを売る店も多かった。

・現在の清正公大祭

現在の人出は2日間で、2万人位である。露店は110店位。

昨年は朝9時から夜21時までであったが、今年は朝10時から夜21時半までになった。

高輪台町会、高輪一丁目君友会、高輪二本榎町会が主催で、町会の役員の方が本部に常時詰めている。高輪警察署、高輪消防署もテントを設置して、防犯、防災、防火、救護に備えている。高輪台小学校、白金小学校など地域の学校のPTAの方が子どもたちの安全の見回りをしている。

現在の露店は、食べ物屋が圧倒的に多い。住宅事情の変化で置く場所や飾る場所がないため、植木屋、鯉のぼり、金魚すくいの店が



清正公大祭(覚林寺)

少なくなった。

天神坂の両側は、駐車場ができその入口は屋台が途切れるので、連続性に欠けるようになった。露店を管理する格的屋のグループは、統率がとれているので、ゴミも持っていき、きちんと清掃して帰る。

昨年から「くまモン」が、来るようになった。今年も人気を集めている。



天神坂の様子



「くまモン」来る



1980年代の「しょうぶ市」

・「しょうぶ市」「高輪のれんノ市」

1980年代には、清正公大祭に合わせて、二本榎通りの芝信用金庫付近に露店がでて「しょうぶ市」が開催されていた。平成23(2011)年

ごろから天神坂に近い二本榎通りや東海大学校内に露店が出店する「高輪のれんノ市」が始められた。メリーロード高輪商店会が主催で東海大学が共催している。東海大学高輪共育プロジェクトも参加している。「高輪のれんノ市」は、熊本物産店などがあり、年々出店者が増えてきている。「阿波踊り」のライブもある。



「高輪のれんノ市」東海大学校内

区からのお知らせ

毎週水曜日は午後7時まで受付

※取扱業務は限定されます。事前にご確認ください。区民課窓口サービス係 ☎5421-7612 / 保健福祉係 ☎5421-7085

～防災意識向上のため、地域の皆さんと作成～ 防災啓発DVD第三弾が完成しました！



高輪地区総合支所は、首都直下地震の発生に備え、区民の皆さんの防災に対する意識を向上させるため、高輪地区内の区民の皆さんをはじめ地区内大学、消防、警察等の関係機関と連携してDVDを作成しました。

今回作成した第三弾では、「災害時に重要な“人とのつながり”」をテーマに、「共助」の重要性として「地域」とのつながりを知っていただくため、実際に活動している方へインタビューし、活動内容や参加方法について教えていただきました。

例えば、地域防災協議会によるスタンドパイプを使った防災訓練の様子や「大人の友達作り」として町会・自治会の活動の様子や加入方法等を紹介しています。

地域との関わりを持ちたいけど、実態がよくわからず一歩を踏み出せない方、ぜひご覧ください。

DVDは、高輪地区総合支所協働推進課で貸出ししています。また港区公式ホームページでも視聴できます。

【問合せ】 高輪地区総合支所協働推進課 協働推進係 TEL:03-5421-7621

祝！ 港区商店グランプリ受賞!!

このグランプリは、港区、港区商店街連合会、港区商店街振興組合連合会が共催で実施し、時代のニーズに即応しながら顧客満足やサービス向上に意欲的に取り組んでいるお店を表彰しています。平成29年度の商店グランプリで、次の2店舗が受賞しました。

皆さんもぜひ、受賞店を訪れてみてください。

港区長賞

白金プラザ会
パッション ドゥ ローズ
Passion de Rose
(白金1-13-12 1F)
TEL: 03-5422-7664



優良賞

プラチナヒルズ商栄会
リストラテ センソ
Ristorante Senso
(白金台5-17-10)
SHIROGANEDAI THE 2000 B1F
TEL: 03-5449-6777



あなたのまちの町会・自治会で お手伝いしてみませんか？

町会・自治会は、住民の皆さんに一番身近な自治組織で、まちの防災、清掃、パトロール、お祭りなどを実施しています。

少しずつの参加で構いません。まちの安心・安全やコミュニティ作りのお手伝いに興味がありましたら、お気軽にご相談ください。

お住まいの地域の町会・自治会は、以下のQRコードからお調べいただけます。

【問合せ】 高輪地区総合支所協働推進課 協働推進係
TEL:03-5421-7621



予告 子ども記者を募集します！

「あっぷリング高輪フェスティバル」の開催に合わせて、「みなとつぷ子ども編集室」が開設されます。日ごろ、みなとつぷの企画編集に参加している編集メンバーたちのサポートのもと、子ども記者がフェスティバルの取材や記事(原稿)を作成します。

子ども記者が作成した記事は、本紙第38号(平成31年3月発行予定)に掲載する予定です。

日時	11月10日(土) 午後1時から5時30分まで(予定)
対象	高輪地区の子どもたち(小学校1年生から中学校3年生まで) ※記事の文章(簡単な作文程度)を作成することができること。
募集人数	数名程度(小学生の場合は保護者の付き添いが必要です)
募集方法	詳細は、港区ホームページや広報みなと(9/11号)に掲載する予定のほか、公共施設等で配布するチラシをご参照ください。(9月中旬ごろ予定)

【問合せ】 高輪地区総合支所協働推進課 地区政策担当 TEL:03-5421-7123



平成30年度「プレーパーク」を開催します

子どもが「自分の責任で自由に遊ぶ」ことを大切に、普段の公園での禁止事項を少なくして、道具や廃材、自然環境を使って、自分のしたいことに挑戦できる遊び場です。平成29年度からは、高輪森の公園に加え、亀塚公園でもプレーパークを開催しています。

プレーパーク事業は、地域団体「みなと外遊びの会」が運営し、区が支援しています。「みなと外遊びの会」では、子どもたちが安心して遊べるように、ネットワークを広げ、「地域に見守られて育つ」遊び場づくりを目指しており、一緒に活動して下さる方を募集しています。詳しくは、「みなと外遊びの会」のホームページ、またはFacebookをご覧ください。

●直近の開催予定(高輪地区) 参加自由

	7月	8月	9月
高輪森の公園	22日	26日	30日
亀塚公園	(終了)	(休止)	12日

※小雨決行、荒天中止。当日の開催状況についてはみなとコール(TEL:03-5472-3710)へ。

【問合せ】 高輪地区総合支所
まちづくり課まちづくり係
TEL:03-5421-7664



本紙のバックナンバーは港区ホームページ(高輪地区総合支所のページ)からもご覧になれます。 みなとつぷ バックナンバー

編集だより

▼今号から「高輪地区の道」と「地域で賑わうイベント」という新しい企画をスタートしました。新しい編集メンバーも加わり、さらに紙面を充実していきたいと思えます。(安藤)

▼気づけば私も3年目に突入してしまいました。今年も地域の若者を中心に紹介できればと思っています。よろしくお祈りします。(戸部田)

▼100年を超える歴史を持つといわれる清正公まつり、昔ながらの露店が並ぶ天神坂を上りながらこの賑わいが今後もずっと続いていくといいと思いました。(吉田)

▼高木美保さんは、女優・コメンテーター・農業等をテキパキとした口調で話され感激しました。(明石)

▼健康で、取材、編集などの輪に入れることが、こんなに幸せなこととは思いませんでした！(伊関)

▼今までより、少し身近な「みなとつぷ」になったのは？と思っています。多くの方に楽しんで頂ければうれしいです。(織部)

▼取材の一環として、大学や寺院等を見学し、高木美保さんにも会えました。こんなワクワク感は、本当に久しぶりでした。(齋藤)

▼見慣れたつもりはプラチナ通りでしたが、目新しいお店が増えていました。散歩が楽しい街ですね。(佐藤)

▼まだまだ知らない白金の魅力の色々と発見するべく、街歩きをしてみようかな。今まで通ったこともない路地裏や気づかなかった建物とかを意識して違う角度で見るとまた違った景色が見れそう。(黒瀬)

▼コメンテーターの高木さん、自然体でお話さる的確なお話していただき、趣味の野菜作りの話もとても参考になり、楽しいインタビューでした。(滝川)

▼情報紙の作成に参加している方々が非常に良く高輪地域を知っていることに驚きました。これから勉強していきたいと思えます。(平尾)

▼犬の散歩コースのプラチナ通り。レストランやブティックが並ぶなか、それ以外の一味違ったお店を取材して、プラチナ通りが更に楽しくなりました。(松島)

▼東海大学高輪共育プロジェクトの冷たい「チョコバナナ&イチゴ」暑い日だったので、美味しさもひとしおでした。ご馳走様でした。(森)

- 区民編集メンバー
- 安藤 洋一(チーフ) 小川 詩緒香 平尾 恭一
 - 戸部田 伊織(サブチーフ) 織部 恵子 松島 佐紀子
 - 吉田 由紀子(サブチーフ) 黒瀬 尚美 道岡 洋子
 - 明石 美穂子 齋藤 初美 森 裕子
 - 伊関 則子 佐藤 雅子 渡邊 義信
 - 井上千聡 滝川 まりえ

※この情報紙は、区が公募し応募のあった区民と、区との協働でつくられています。